

松江市 報道提供資料

令和 7 年 2 月 4 日

件名

ロゴマーク・キャッチコピー発表のお知らせ

内容

今年 10 月からの NHK 連続テレビ小説「ばけばけ」の放送を、小泉八雲・セツが愛した松江の魅力発信・観光振興に最大限に活かすために、「小泉八雲・セツのドラマをイカしてバケる推進協議会」（以下「推進協議会」）を昨年 12 月 16 日に立ち上げ、官民連携しオール松江市で取り組んでいるところです。

推進協議会では松江市が「ばけばけ」の舞台であること、ドラマとの関連性を観光客に伝え、この地域の認知の向上および誘致につなげるため、ロゴマークとキャッチコピーを作成し、小泉セツの生誕の日である 2 月 4 日にリリースしました。市民・事業者の皆さまが開催するイベント等や開発した商品において広く利用することができます。

ロゴ使用については申請が必要とあります。詳しくは観光協会ホームページをご覧ください。

URL <https://www.kankou-matsue.jp/travel/establishment/1363>



【問い合わせ】

観光部 小泉八雲・セツのドラマ応援室 担当：大島

電話：0852-55-5219

■ロゴマーク

松江に滞在した期間は約1年3か月と短かった八雲ですが、そこでともに旅する生涯のパートナーを見つけました。

彼が見たいもの、聞きたいものがセツによってひらかれていくことによって、松江はふたりにとって心豊かな世界へと変わっていったのではないのでしょうか。世の中の変化や、自分の心の様相の機微を楽しんで生きる(=旅する)二人を描いています。

挿絵画家ウェルドンが描いた「ニューヨークを旅立つ八雲」の後ろ姿をモチーフに、松江で出会い心の旅をともにするセツと八雲、二人の後ろ姿を描いたシルエットをメインにしたデザインとしています。

深緑は松の色を、黄色は明るい未来を象徴しています。

あ げ、
そ げ、
ば け、



小泉八雲とセツが出会ったまち 松江

■キャッチコピー

「あげ、そげ、ばけ。」

松江の人にとっては「方言」ですが、県外の人にとっては純粋に「音」として面白い響きをもっている言葉です。八雲自身も、外国人として日本語の持つ音の響きを純粋にたのしんでいたのではと考えられます。

また、松江をアゲていくこと、不要なものを削いでいくことで変化していく、「あれも、それも、ばけるよ。」という意味を込めています。